

## イコール・ペイ・デイ（2018年4月6日） キャンペーン活動及び全国会議報告



女性が1年を超えて働いて、男性1年分の賃金と同額を手にする日、それを「イコール・ペイ・デイ(EPD)＝同じ賃金を手にする日」という。賃上げ闘争ではありません。男女間の賃金格差を「見える化」して、社会の理解を広げようと世界各国のBPWが取り組んでいるキャンペーンです。

### 第5回 Equal Pay Day 全国会議

#### 男女の賃金格差解消を目指して

#### イコール・ペイ・デイ運動を広げよう！！

開催日：4月21日(土)13:30～16:30

会場：婦選会館ホール 参加者28名(一般8名)

後援：厚生労働省・内閣府男女共同参画局

#### 政策説明

厚生労働省雇用環境・均等局 雇用機会均等課長  
堀井奈津子氏

#### 基調講演

#### 「女性活躍推進の構造と賃金格差の解消」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室長 矢島洋子氏

#### 企業事例紹介

「ダイバーシティの尊重」  
フィリップ・モリス・ジャパン  
法務部弁護士・シニアカウンセラー 佐藤百合子氏

#### 《概要》

〔政策説明〕堀井奈津子氏

「日本再興戦略」に、女性の活躍を国の施策の核に据える理念が明記されたことで、女性の活躍推進施策への関心が高まり、労働力人口におけるいわゆるM字カーブの改善が見られることなど各種のデータ・資料に基づいて報告。

一方、課題として、複合的に起きる職場のハラスメントに有効な法律が未整備であること、賃金格差は、働き方、職業選択、勤続年数、役職など原因となる要素が多く、いずれも全体として考えるべきである。加えて非正規労働者の多さや、雇用ニーズの高い職種に対応できる教育環境や、働き方改革への注力で女性活躍推進が終わったという感覚を持つ民間企業の意識の存在も問題であると指摘。

女性活躍推進法についていえば、国が企業のデータベースを持っていることは世界的にユニークであり、現在公表される企業は9000を超えて学生の注目も高い。男女を問わず、希望に応じて職場で活躍し、地域に貢献することが選べる社会の実現が理想であるとして、法を活用し、男性も

含めた全体での働き方改革の必要性を訴える。

〔基調講演〕矢島洋子氏

現状の労働環境の解説と、人事コンサルティング業務の取り組み事例をもとに、働く女性たちの声をまじえて、今見えている課題と有効な施策を紹介。特に女性活躍推進施策が、経営者の「誤解」から、施策の対象が女性に固定化される傾向や、現状の労働環境は、時短や両立支援策で「継続」はできるが、管理職を増やして次のステップに移るためのベースからの改革の視点が足りない。具体的な取り組みとして、総務省で自治体の女性活躍推進のマニュアルを作成した例、テレビ業界に於ける報道局のような職場では、時間制約のある女性の働き方の悩みなどが紹介され、制度を希望した人だけのものでなく、本来のベース化すること、短時間勤務とキャリアアップが相反しない仕組みづくり、全体としての「柔軟な働き方対応キャリアプラン」の重要性を説明。

また、企業へのアンケート調査の結果から、女性活躍推進法における基礎3項目による女性の雇用状況のタイプを分類して特徴と課題を抽出。女性活躍推進状況の構造図に整理して、女性活躍推進法が時限立法であることも踏まえ、施策の永続的な取り組みサイクルの確立を急ぐべきだと説明。併せて女性活躍推進のポイントとして管理職の時短を含めた、ダイバーシティの視点から男性の働き方と組織文化を改革することが重要であると課題を提起した。

〔企業事例報告〕2年連続で『EQUAL-SALARY Foundation』よりイコールサラリー企業の認証を受けたフィリップ・モリス・ジャパンの佐藤百合子氏が、多国籍企業におけるダイバーシティ&インクルージョンについて、講演。

ポイントは、この課題に対してマネジメントの「納得」による企業の成長という文脈の中への位置づけが必須であること、この視点でビジネスとして成功した「iQos」の事例が紹介された。また、同社の基本理念として男女に限らずトータルな取り組みでの公平・公正なキャリアの機会、Equal salaryの機会を与えること、仕事とそれぞれの生活とのバランス重視の働き方改革 Flex

ability という施策が、結果として男女格差は説明できない **biased prejudice** という、「無意識の偏見」がなお存在し、これに関するトレーニングが必要ということも指摘。

[EPD 全国の活動報告]

各 BPW の取り組みについて、参加した各クラブ・アソシエーツの代表から、街頭活動、官庁へ出向いてのアピール、ラジオ出演や、記事につながるビジュアル重視の活動などメディアを活用する施策、新たなツ

ルとしての SNS や WEB を活用した若年層への情報拡散施策などが報告された。欠席地域の EPD 活動については、司会から紹介。地域によって、街頭活動の反響に差があり、SNS に関しては活用のためのリテラシーアップが必要だなどの課題を共有し、今後も効果的効率的なアピール方法を考えて運動を継続・拡大していくことを確認した。

最後に EPD アピール(下記)を採択し、記念撮影。

### 特定非営利活動法人日本BPW連合会 2018 年 EPD 全国会議アピール

平成 30 年 4 月 21 日(土)

日本BPW連合会は、2018 年EPD全国会議において、次のアピールを採択した。

#### 1. 男女の賃金格差を知ろう！2018 年の EPD は、4 月 6 日。

＊男性が 1 年間に得る賃金を、女性は 1 年では得ることができず、翌年の 4 月 6 日によろやく同額になるということに注目しよう。

＊男女の賃金格差が、年齢を重ねると共に拡大することに注目しよう

#### 2. 男女間の賃金格差の原因解消に向けて！

＊格差解消のため、ワーク・ライフ・バランスの実現、様々な両立支援策とポジティブ・アクションを含む女性の能力開発が不可欠である。男女とも柔軟な働き方をできるよう、長時間労働の是正と仕事の評価方法を見直そう。

#### 3. 同一価値労働・同一賃金の実現を目指そう

#### 4. みんなの協力で格差解消を！

行政(中央・地方)に積極的な協力を求めよう！

経済界・市民団体・マスコミ等に「理解と協力で行動を！」と呼びかけよう！



**各地での2018 イコール・ペイ・デイ・キャンペーン**

【連合会】2018年4月21日全国会議開催  
EPDの要望書を手渡し

5月14日 厚生労働省 成田裕紀大臣官房審議官  
平松理事長、名取副理事長、  
東京クラブ安陪陽子名誉会長  
内閣府 武川恵子男女共同参画局長  
名取理事長、平松企画委員長

全国での活動を報告し、要請文を渡して今後の展開への協力を求めた。

**【各クラブ報告】**

**【札幌クラブ】**

4月4日に札幌市長を表敬訪問し EPD の説明と PR する他、道と市の関係部署にチラシを渡した。2月の例会では平松理事長、佐藤理事の講演とディスカッションにより会員の EPD への理解が深まった。この他会員が多様な分野で(フェイスブック、取締役会、講演会、ラジオ番組)EPD の PR に努めた。



**【山形クラブ】**

県知事、県の関係部署、労働局、経営者協会、商工会議所、連合山形の他、県・市の男女共同参画センター等への訪問による EPD の説明と広報活動の協力を依頼。

また、メーデーに参加し、EPD をアピールした。



**【東京クラブ】**

4月6日に例年通り東京駅丸の内側でのチラシ配布と行幸通りで東京駅を背景に記念撮影、インターンや他団体からも EPD 活動に賛同して参加。今年は SNS により EPD 活動の拡散を図り、反響に手ごたえがあった。



**【山梨クラブ】**

4月6日甲府駅北口 よっちゃばれ広場に勢揃い。赤いジュースで乾杯、更なる改善にむけて今年は白いたすきに赤字の EPD と後ろにはクラブ名を入れて作成。県民生活・男女参画課、労働局雇用環境均等質、市人権男女参画課へ表敬訪問実施。山梨日日新聞記者が同行し EPD 活動が掲載された。



**【名古屋クラブ】**

知事および堀井奈津子副知事他関係部署の方々へ説明。名古屋市副市長はじめ男女平等推進室の関係者が例年にならない全員赤色のものを着用して迎えていただいた。その他、労働局長訪問。朝日新聞に記事が掲載された。



### 【和歌山クラブ】

県の関係部署、労働局雇用環境均等室の他、商工会議所、商工会など経済界への事前アピール訪問はメディア各社に取材依頼実施。EPD当日に、JR和歌山駅で揃いの赤いジャンパーを着て、和歌山イコール会議会員と共にチラシ配布。わかやま新報に活動紹介記事掲載。この他銀行や企業にもアピール。



### 【香川クラブ】

6日に県知事、高松市長、労働局雇用環境均等室、商工会議所、経済同友会、連合香川などへの表敬訪問とPR。また中心商店街でチラシ配布。四国新聞でEPD活動が掲載。11日には連合香川の執行役員会にてチラシ配布。さらに香川大学の会報にBPWのEPD活動の記事が掲載された。



### 【福岡クラブ】

6日の市の人権啓発センターでの広報活動をはじめ、会員がチラシやファイルをもって、職場・地域でそれぞれに広報活動を実施。また、クラブ内での勉強会を6回実施



### 【北九州クラブ】

6日、北九州市の関連部署、市議会議長・副議長への面談とチラシ配布の依頼。その他公財アジア・交流・研究フォーラム、男女共同参画センターへの趣旨説明。夕方小倉駅前にてチラシ配布・説明。そのほか病院・薬剤師関連など、企業、学生、各団体への啓発活動を通年で積極的に実施。



### 【長崎クラブ】

長崎市男女共同参画センター「アマランスフェスタ」イベントでの展示で、EPDの説明、チラシ設置。例会時で学習。さらにEPD関連グッズとして陶器のペンダントを作成、カイロ Congress をはじめ国内外で販売し啓発・理解を深めている。



### 【その他】

- ・苫小牧・青森・あいち・熊本アソシエーツ、京都クラブ・大阪クラブにおいてチラシ拡散等の活動実施。
- ・EPD インスタグラムを作成し、若い世代へのアピールを実施。
- ・女性センターのフェスティバル等における展示・学習会など通年で実施。

### 【NWECにてEPD展示】

国立女性教育会館(NWEC)の男女共同参画フォーラム(8/28-30)においてEPDのパネル展示、シール貼付型アンケート実施。

